



上福島小学校

所在地 〒553-0003 福島区福島 7-4-33

電話番号 6451-1544

標準服 有り

校長名 池田 眞一

ホームページ <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e531068>



学校概要

令和6年度に創立 150 周年を迎えた伝統ある学校です。現在 20 学級（内、特別支援学級6学級）、ことばの教室も設置しています。令和2年度から通学区域が拡大し、令和7年度は児童数が 408 名になりました。令和9年度には校区変更が行われる予定です。令和2年度4月に新校舎が、8月には運動場も完成しました。校舎も運動場も広く、きれいになり、とてもいい学習環境で過ごすことができます。

沿革

明治 7 年 8 月 大阪府管内第三中学区西成郡上福島小学校
明治20年 4 月 上福島尋常小学校と改称
平成19年 4 月 通級指導教室（上福ことばの教室）設置
平成24年 3 月 うれてもうらない門設置
（なにわの伝統野菜ミュージアム公開）
平成26年 5 月 創立 140 周年
令和 2 年 4・8 月 西側新校舎完成、運動場整備完成
令和 6 年 11 月 創立 150 周年

児童数（令和 7 年 5 月 1 日現在）

学年	男子	女子	計	学級数
1	32	38	70	2
2	47	38	85	3
3	25	30	55	2
4	31	45	76	3
5	30	31	61	2
6	27	34	61	2
特別支援学級				6

令和 6 年度全国学力・学習状況調査および、全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学力・学習状況

国語	算数
76	72

（平均正答率％）小学 6 年生

これまでの成果と今後の課題

平均正答率においては、国語、算数とも、全国・大阪市を上回る結果でした。国語においては、図書館開放の積極的な活用や、言語指導や話し合い活動の取り組みが成果として挙げられます。今後は、主体的に学習活動に取り組めるような授業の工夫が必要であると考えています。算数においては、基礎的・基本的な学習の定着は見られますが、実際の生活に活用ができるような数学的活動を取り入れていく必要があります。表現する力や発表力をつけるために、社会科・生活科を研究教科として授業の改善や ICT を効果的に活用します。子どもたちが楽しいと思える授業づくりをめざします。

体力・運動能力、運動習慣

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.88	20.31	29.35	39.12	42.28	9.65	140.77	21.81	49.60
女子	15.90	20.70	37.40	39.80	36.03	9.77	143.13	13.15	53.92

（平均値）小学 5 年生

これまでの成果と今後の課題

男子は、全 8 種目中 2 種目で全国平均を上回り、女子は全 8 種目中 4 種目で全国平均を上回りました。体力合計点は、女子が全国平均、大阪市平均を上回りました。普段から運動場等で元気に活動する児童が多いため、体力づくりの意欲付けとして、水泳やかけ足などの運動強調週間を設定し、がんばりカード等を活用しました。運動能力調査の結果から、立ち幅とびの記録が大阪市や全国の平均を大きく下回っているため、低学年から高学年まで系統立てた「跳ぶこと」に重点を置いた単元構成や遊びのスペースづくりや用具の工夫をして運動環境を整えていきます。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。

福島区 上福島小学校

上福島小学校学校案内

学校教育目標

「たくましく、心豊かに、実行力のある子どもの育成」

学校経営の重点

「つながり」を通した自己向上力の育成

1 主体的学びの推進（情報活用力の育成）

興味を持って調べる・自分の考えを発信する
自分の考えを広げる図書館・ICTの活用

2 聞く（聴く）力の育成

聞いたことを取り入れ自分の考えに生かす
合わせる良さを実感する

3 人権尊重の意識向上

みんなにやさしい関係・環境づくり
多様な考えを持った相互理解

4 感謝の気持ちを表す

時と場に応じた感謝を考え実行する
個々の心の中の感謝を大切に育てる

5 つなぐ力の育成

「つながり」を個々の力にしていく
自己の役割実行と新たな挑戦

「つながり」を大切にしながら、日々の取り組みを充実させます。

児童集会の様子



ふれあいまつり（たてわり班活動）



上福島小学校は、昨年度創立150周年を迎えました。今年度は、新たな一步のスタートを踏み出しました。音楽や ICT の活用、国際交流などさまざまな事業を活用しながら、子ども自身が刺激を受けて、新しい発想を生み、その思いをそれぞれのかたちで発信したものをみんなで共有できるような取り組みを進めていきます。子ども同士が心豊かに育ち、自分自身や互いを大切にすることを感ぜさせ、協力し認め合えるような集団作りをしていきます。

食育の推進



国際交流活動

